

# 平成27年度

## 「人口減少社会×ものづくり技術」イノベーション創造事業 補助金のご案内(第二次募集)

本市における少子高齢化・人口減少に伴い直面する課題に対し、市内中小企業の優れたものづくり技術を活用し、人口減少社会への対応を図るため、「募集テーマ」に対応する製品の試作開発に取り組む事業を募集します。

なお、本制度は、試作開発作業の段階で、ユーザー等からもご意見をいただきながら、実際に使っていただける製品づくりを目指します。

**公募期間 平成27年11月17日(火)～平成27年12月4日(金)**

対象事業	少子高齢化・人口減少に伴う課題解決のために本市が定める「募集テーマ」に基づき機器開発等を行う事業で、新たな雇用の創出を目指し取り組む事業。 (募集テーマについては裏面をご覧ください)
対象者	下記に指定する業種(※1)に該当する事業主のうち、次の①②のいずれかに該当するもの。 ①神戸市内に事業所を置く中小企業(以下「市内企業」という。)で、神戸市市税条例に定める神戸市税(以下「神戸市税」という。)の滞納又は未申告がない者 ②市内企業を含む2社以上から構成されるコンソーシアムで、市内企業に神戸市税の滞納又は未申告がない者。
対象経費	試作開発にかかる経費(原材料費、外注加工費、直接人件費ほか)
補助率	定額
補助限度額	1件あたり 120万円(1年度あたり)
補助対象期間	2年間(平成29年3月31日まで)

※1 指定する業種(日本産業標準分類中分類による)

コード	業種
13	家具・装備品製造業
16	化学工業
18	プラスチック製品製造業
19	ゴム製品製造業
21	窯業・土石製品製造業
22	鉄鋼業
23	非鉄金属製造業
24	金属製品製造業
25	はん用機械器具製造業

コード	業種
26	生産用機械器具製造業
27	業務用機械器具製造業
28	電子部品・デバイス・電子回路製造業
29	電気機械器具製造業
30	情報通信機械器具製造業
31	輸送用機械器具製造業
39	情報サービス業
74	技術サービス業

申請方法などの制度の詳細(公募要領・交付要綱)は、「神戸ものづくり支援ポータル」をご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.kobe-liaison.net/>

# 募集テーマ

## 【家事支援分野】

### ○「電動物干しざお駆動ユニット」

- ・高齢化に伴い、洗濯物を干す際に高いところにある物干し竿に洗濯物をかけるのが辛いという声があり、この課題を解決する電動で物干し竿を上下できる装置を考案する。  
上下駆動に加え前後にも駆動させることで、より日当たりのいい位置に洗濯物を干し、急な降雨に際してはセンサーで検知、また日没時等の光量も検知して奥に引き込める機能も付与し、留守中にも安心した物干しができるものとする。
- ・住宅に付帯されている物干し竿掛けを利用し駆動ユニットを取りつける。
- ・上下駆動および前後駆動の同期は不要。
- ・リミッター等で一定の高さまで巻き上げ、巻き降ろしが可能とする。
- ・前後への駆動は450mm程度とする。
- ・本体重量：目標3kg以下（片側）
- ・本体寸法：長さ≒500、巾および高さ≒80
- ・上下動駆動時間：20秒～30秒
- ・雨滴センサーにより雨を検知したら奥へ引き込む。
- ・光センサーにより一定の光量以下になれば奥へ引き込む。
- ・操作はリモコンが望ましい。
- ・バッテリー駆動あるいは上下動が手動のタイプも想定可。
- ・既存の様々なタイプの物干し掛けにも対応できるアタッチメントも数種考案のこと。

## 【農業分野】

### ○「農作業における畝を跨ぐ作業が可能で収納時には折り畳める6輪台車」

・種苗、除草、収穫等の作業時に使用される台車は各種のタイプが市販されているが、効率良く作業するために、2畝分の畝をまたぎ2人で4畝分の作業ができる6輪台車を考案する。未使用時には折り畳むことが可能で、かつ畝幅に合わせた車輪幅や高さを変更することも容易にできるものとする。

・対象作業はキャベツ、レタス、イモ類の種苗、除草、収穫作業

・荷台および片方の車輪は折り畳み収納が可能とする

・できるだけ軽く押せるように配慮

・車輪は可能ならぬかるみ対策を採ること

・積載荷重：200kg程度      ・本体重量：30kg以下

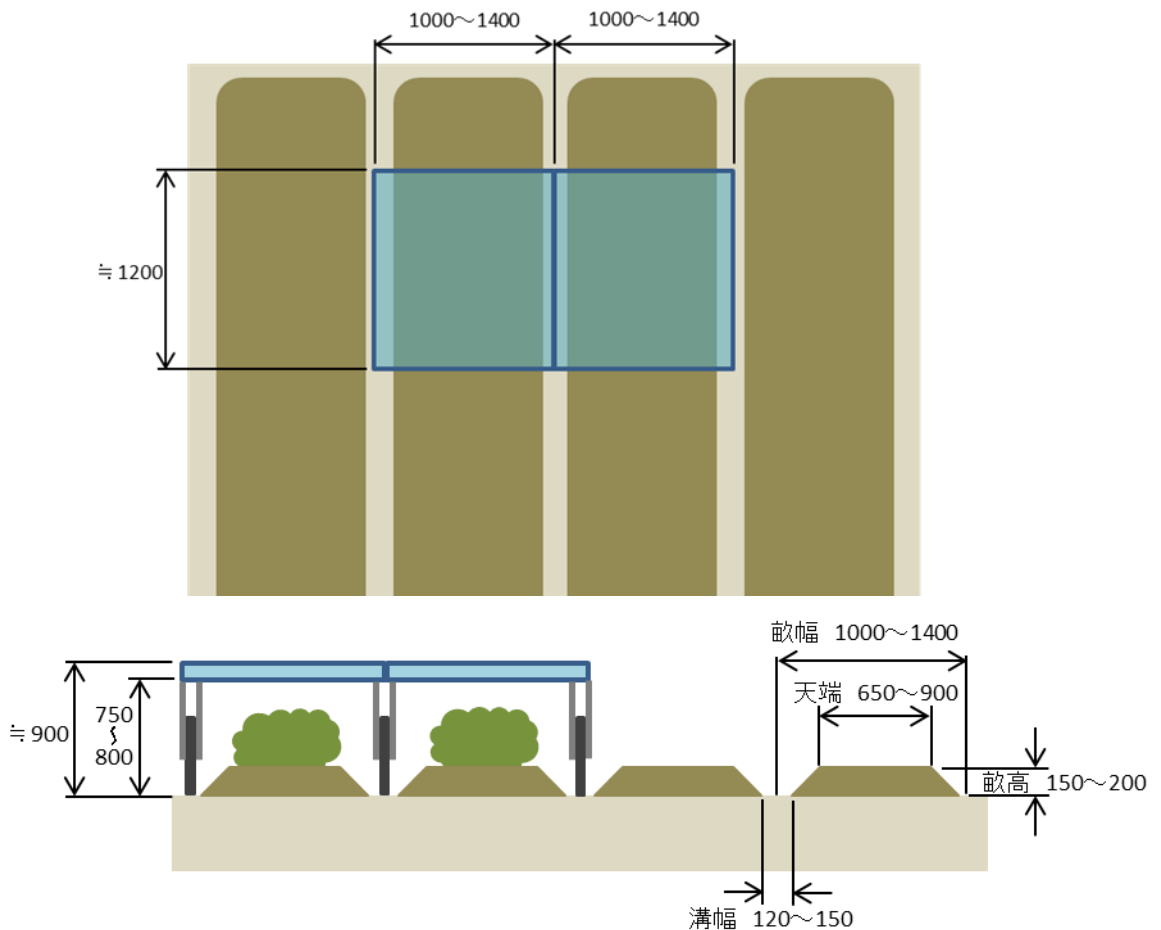
・本体寸法：長さ≒1400、最大巾≒2800、(折り畳み時の幅≒1200)高さ≒900

・車輪巾：1000mm～1400mm×2可変      ・車輪径：20インチ～26インチ

・乗り越え高さ：750～800(荷台底面～畝底)

・必要に応じて固定できるスタンドも付与する

・畝への適応サイズおよび各種寸法。



以下のテーマについては追加募集をします。

### ①「乳幼児を抱っこする際の荷重を軽減し、肩や腰等の負担を軽減するツール」

・乳幼児を運ぶ際、最近では体の前で抱っこする形式のものが主流になっているが、腰や肩の負担が大きいとの声がある。この改善策として、乳幼児を抱っこする際の肩や腰等への負担を軽減する道具を考案する。

- ・抱っこをする者が一人で着脱可能であること。
- ・構成素材は布にこだわらず自由とする。

### ②「乳幼児を安全に浴槽に入浴させたまま、保護者が自分の洗髪等を可能にする入浴補助用具」

・乳幼児を入浴させる際の入浴補助用具としてはすでに様々なものがあるが、より安全な入浴補助用具として、浴槽の縁に装着できるような乳幼児用の座位保持用具を考案する。

- ・保護者の介助なく乳幼児を安全に保持可能であること。
- ・乳幼児に苦痛を与えるものでないこと。
- ・浴槽に簡易かつ安全に装着可能であること。
- ・乳幼児の身長や水位に応じて入浴位置を調整できるよう、設置位置を調整可能であること。
- ・保護者が洗い場にいる際に乳幼児の顔が見えるよう、設置は洗い場と対面する奥側が望ましい。